

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2014年1月24日～2019年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	資産成長コース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨αコース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券への分散投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド （資産成長コース／通貨αコース）

運用報告書（全体版）

資産成長コース	第4期（決算日	2016年1月18日）
	第18期（決算日	2015年8月17日）
	第19期（決算日	2015年9月17日）
通貨αコース	第20期（決算日	2015年10月19日）
	第21期（決算日	2015年11月17日）
	第22期（決算日	2015年12月17日）
	第23期（決算日	2016年1月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース）」は、さる1月18日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5620>
<5621>

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

★ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 7月17日)	10,561	10	5.7	10,715	7.1	1.0	98.1	7,740
2 期末 (2015年 1月19日)	11,236	10	6.5	11,018	2.8	0.8	97.3	5,274
3 期末 (2015年 7月17日)	11,018	10	△ 1.9	11,024	0.0	1.0	96.6	3,546
4 期末 (2016年 1月18日)	9,233	10	△ 16.1	9,052	△ 17.9	1.6	95.8	2,303

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) J Pモルガン G B I - E Mグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

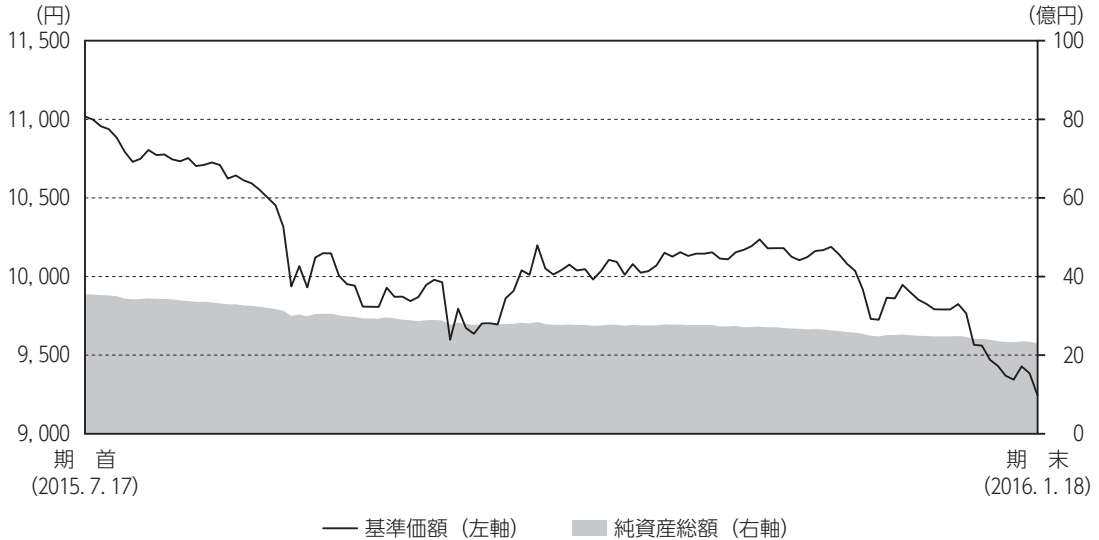
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,018円

期末：9,233円（分配金10円）

騰落率：△16.1%（分配金込み）

■ 基準価額の変動要因

投資している債券の値下がりや通貨が円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-EEM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2015年 7月17日	円 11,018	% —	11,024	% —	% 1.0	% 96.6
7月末	10,773	△ 2.2	10,668	△ 3.2	0.9	96.1
8月末	10,148	△ 7.9	9,958	△ 9.7	1.2	96.9
9月末	9,635	△ 12.6	9,419	△ 14.6	1.1	98.1
10月末	10,024	△ 9.0	9,967	△ 9.6	1.2	97.0
11月末	10,126	△ 8.1	10,037	△ 9.0	1.0	95.4
12月末	9,825	△ 10.8	9,659	△ 12.4	1.0	97.8
(期末) 2016年 1月18日	9,243	△ 16.1	9,052	△ 17.9	1.6	95.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○債券市況

米国の金融政策の正常化への思惑や中国経済の減速懸念といった外部要因に加えて、各国の政治・財政状況の影響を受けて金利は上昇する国が多くなりました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、政治的不透明感や地政学リスクの高まりが嫌気され金利は上昇しました。南アフリカでは、2015年12月に行なわれた突然の財務大臣交代が市場の不信感を招き、金利は上昇しました。ポーランドでは、C P I（消費者物価指数）が前年比マイナス圏での推移が続いていることから金利は低下しました。

- ・ アジア地域

インドネシアでは、市場心理の悪化や通貨安の影響を受けて金利は上昇しました。マレーシアでは、政策金利の据え置きが続いていることから金利は横ばいでの推移となりました。タイでは、緩和的な金融政策が続けられたことから金利は横ばいから低下基調での推移となりました。

- ・ 中南米地域

ブラジルでは、政府が進める財政再建の進ちょくの遅れが懸念され金利は上昇しました。メキシコでは、C P Iが前年比で低下基調が続いたことが好感されて金利は低下しました。ペルーでは、政策金利の引き上げが行なわれたことから金利は上昇しました。

○為替相場

中国経済の減速懸念を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、対円で下落する通貨が多くなりました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは政治的不透明感の高まりや中央銀行の金融政策への不信感が嫌気されて対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、格付会社によるネガティブなアクションや財務大臣交代に伴う混乱が嫌気され、対円で下落しました。ポーランド・ズロチは、E C B（欧州中央銀行）による追加金融緩和への期待で経済的に結びつきの強いユーロが下落した影響を受けて対円で下落しました。

- ・ アジア地域

原油をはじめとする商品の価格下落の影響を受けてインドネシア・ルピアおよびマレーシア・リングgitは対円で下落しました。市場心理の悪化の影響からタイ・バーツは対円で下落しました。

- ・ 中南米地域

ブラジル・レアルは、財政悪化懸念や格下げが行なわれたことから対円で下落しました。メキシ

コ・ペソおよびペルー・ソルは、主要輸出品目である原油やその他の資源の価格動向、海外市場心理の悪化に影響されて対円で下落しました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」）といえます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。

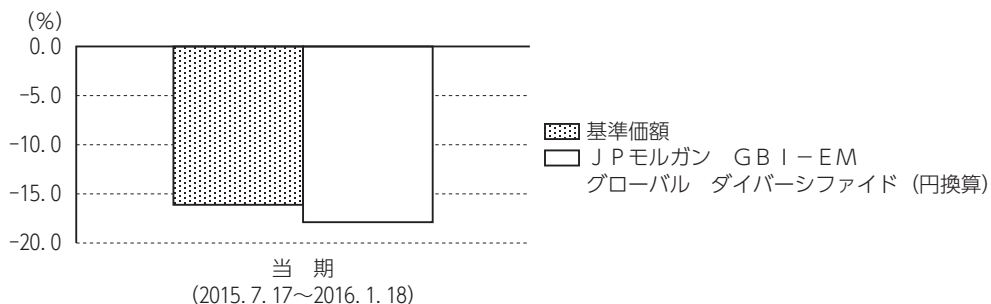
・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.0（年）～2.5（年）程度としました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年7月18日 ～2016年1月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.11
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,716

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	284.29円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	33.04
(d) 分配準備積立金	1,408.90
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,726.25
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,716.25

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 7. 18～2016. 1. 18)		
	金 額	比 率	
信託報酬	59円	0. 587%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 094円です。
（投信会社）	(17)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(41)	(0. 409)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	60	0. 591	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2015年7月18日から2016年1月18日まで)

	買 付		売 付	
	口 数 千口	金 額 千円	口 数 千口	金 額 千円
外国 (邦貨建)	1,046.708	96,885	7,781.679	730,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2015年7月18日から2016年1月18日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	口 数 千口	金 額 千円	平均単価 円		口 数 千口	金 額 千円	平均単価 円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	7,781.679	730,000	93

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年7月18日から2016年1月18日まで)

区 分	当 期			当 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 91,014	百万円 10,100	% 11.1	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	2,661,388	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数 千口	評価額 千円	比 率 %
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	26,255.264	2,206,623	95.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	49,082	49,082	50,053

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年1月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,206,623	95.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	50,053	2.2
コール・ローン等、その他	66,304	2.8
投資信託財産総額	2,322,981	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年1月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,322,981,670円
コール・ローン等	66,304,002
投資信託受益証券（評価額）	2,206,623,693
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	50,053,975
(B) 負債	19,356,194
未払収益分配金	2,494,937
未払信託報酬	16,744,532
その他未払費用	116,725
(C) 純資産総額（A - B）	2,303,625,476
元本	2,494,937,804
次期繰越損益金	△ 191,312,328
(D) 受益権総口数	2,494,937,804□
1万口当り基準価額（C / D）	9,233円

* 期首における元本額は3,219,163,748円、当期中における追加設定元本額は8,997,884円、同解約元本額は733,223,828円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,233円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は191,312,328円です。

■損益の状況

当期 自2015年7月18日 至2016年1月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	87,785,058円
受取配当金	87,771,667
受取利息	13,391
(B) 有価証券売買損益	△ 512,901,531
売買益	65,137,162
売買損	△ 578,038,693
(C) 信託報酬等	△ 16,861,257
(D) 当期損益金（A + B + C）	△ 441,977,730
(E) 前期繰越損益金	245,175,241
(F) 追加信託差損益金	7,985,098
（配当等相当額）	（ 8,245,180）
（売買損益相当額）	（△ 260,082）
(G) 合計（D + E + F）	△ 188,817,391
(H) 収益分配金	△ 2,494,937
次期繰越損益金（G + H）	△ 191,312,328
追加信託差損益金	7,985,098
（配当等相当額）	（ 8,245,180）
（売買損益相当額）	（△ 260,082）
分配準備積立金	419,948,640
繰越損益金	△ 619,246,066

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	70,930,671円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	8,245,180
(d) 分配準備積立金	351,512,906
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	430,688,757
(f) 分配金	2,494,937
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	428,193,820
(h) 受益権総口数	2,494,937,804□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は1月18日現在の基準価額（1万口当り9,233円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 3月17日)	9,950	100	0.5	9,917	△ 0.8	0.8	98.1	26,778
2 期末 (2014年 4月17日)	10,101	100	2.5	10,328	4.1	1.0	98.6	27,358
3 期末 (2014年 5月19日)	10,071	100	0.7	10,540	2.0	0.8	98.4	27,373
4 期末 (2014年 6月17日)	10,023	100	0.5	10,588	0.5	0.7	98.6	27,142
5 期末 (2014年 7月17日)	10,019	100	1.0	10,715	1.2	0.8	98.7	26,838
6 期末 (2014年 8月18日)	9,914	100	△ 0.0	10,648	△ 0.6	0.8	98.5	26,263
7 期末 (2014年 9月17日)	9,968	100	1.6	10,888	2.3	0.7	98.3	25,797
8 期末 (2014年10月17日)	9,673	100	△ 2.0	10,621	△ 2.5	0.8	98.2	24,525
9 期末 (2014年11月17日)	10,184	100	6.3	11,473	8.0	0.8	98.3	25,273
10 期末 (2014年12月17日)	9,779	100	△ 3.0	10,620	△ 7.4	0.5	98.6	23,393
11 期末 (2015年 1月19日)	9,838	100	1.6	11,018	3.7	0.8	98.5	22,819
12 期末 (2015年 2月17日)	9,650	100	△ 0.9	11,005	△ 0.1	0.5	98.6	20,381
13 期末 (2015年 3月17日)	9,336	100	△ 2.2	10,562	△ 4.0	0.6	96.6	18,518
14 期末 (2015年 4月17日)	9,302	100	0.7	10,907	3.3	0.6	97.2	17,530
15 期末 (2015年 5月18日)	9,283	100	0.9	11,155	2.3	0.7	98.0	16,732
16 期末 (2015年 6月17日)	9,152	100	△ 0.3	10,933	△ 2.0	0.7	97.7	15,834
17 期末 (2015年 7月17日)	9,091	100	0.4	11,024	0.8	0.9	97.5	15,230
18 期末 (2015年 8月17日)	8,726	100	△ 2.9	10,492	△ 4.8	0.9	96.5	13,917
19 期末 (2015年 9月17日)	8,068	100	△ 6.4	9,749	△ 7.1	1.1	96.1	12,146
20 期末 (2015年10月19日)	8,103	80	1.4	10,089	3.5	1.0	95.9	11,299
21 期末 (2015年11月17日)	8,061	80	0.5	10,030	△ 0.6	1.0	97.0	10,457
22 期末 (2015年12月17日)	7,828	80	△ 1.9	9,675	△ 3.5	1.3	96.4	9,717
23 期末 (2016年 1月18日)	7,323	80	△ 5.4	9,052	△ 6.4	1.7	96.1	8,648

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバルダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

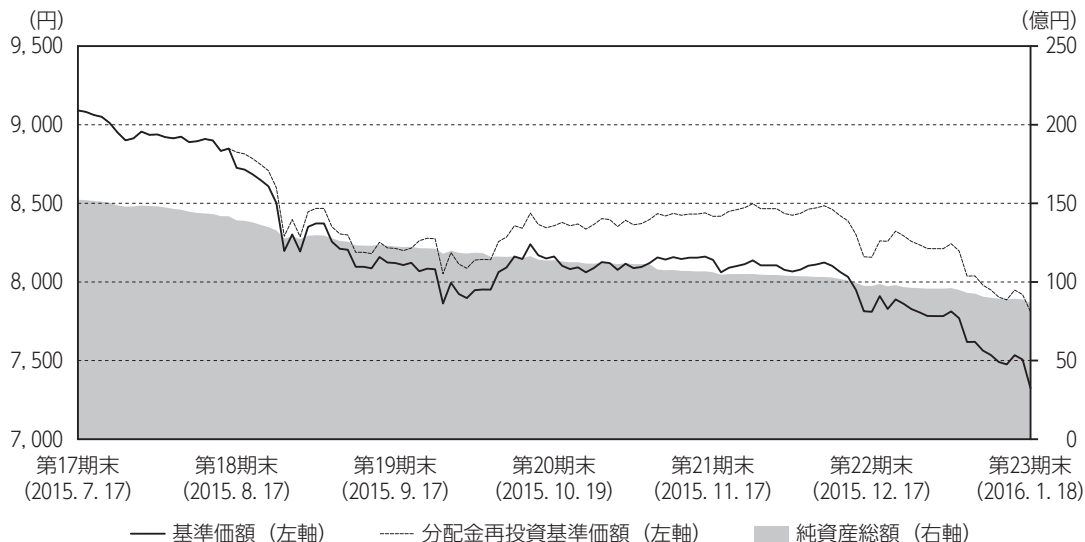
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第18期首：9,091円

第23期末：7,323円（既払分配金520円）

騰落率：△14.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

通貨オプション取引によるプレミアム収入は基準価額の上昇要因となりましたが、投資している債券の値下がりや通貨が円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第18期	(期首) 2015年 7月17日	円 9,091	% —	11,024	% —	% 0.9	% 97.5
	7月末	8,936	△ 1.7	10,668	△ 3.2	0.8	96.4
	(期末) 2015年 8月17日	8,826	△ 2.9	10,492	△ 4.8	0.9	96.5
第19期	(期首) 2015年 8月17日	8,726	—	10,492	—	0.9	96.5
	8月末	8,372	△ 4.1	9,958	△ 5.1	1.1	96.9
	(期末) 2015年 9月17日	8,168	△ 6.4	9,749	△ 7.1	1.1	96.1
第20期	(期首) 2015年 9月17日	8,068	—	9,749	—	1.1	96.1
	9月末	7,897	△ 2.1	9,419	△ 3.4	1.0	96.7
	(期末) 2015年10月19日	8,183	1.4	10,089	3.5	1.0	95.9
第21期	(期首) 2015年10月19日	8,103	—	10,089	—	1.0	95.9
	10月末	8,088	△ 0.2	9,967	△ 1.2	1.2	97.2
	(期末) 2015年11月17日	8,141	0.5	10,030	△ 0.6	1.0	97.0
第22期	(期首) 2015年11月17日	8,061	—	10,030	—	1.0	97.0
	11月末	8,077	0.2	10,037	0.1	1.0	95.9
	(期末) 2015年12月17日	7,908	△ 1.9	9,675	△ 3.5	1.3	96.4
第23期	(期首) 2015年12月17日	7,828	—	9,675	—	1.3	96.4
	12月末	7,813	△ 0.2	9,659	△ 0.2	1.1	95.3
	(期末) 2016年 1月18日	7,403	△ 5.4	9,052	△ 6.4	1.7	96.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○債券市況

米国の金融政策の正常化への思惑や中国経済の減速懸念といった外部要因に加えて、各国の政治・財政状況の影響を受けて金利は上昇する国が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、政治的不透明感や地政学リスクの高まりが嫌気され金利は上昇しました。南アフリカでは、2015年12月に行なわれた突然の財務大臣交代が市場の不信感を招き、金利は上昇しました。ポーランドでは、C P I（消費者物価指数）が前年比マイナス圏での推移が続いていることから金利は低下しました。

・アジア地域

インドネシアでは、市場心理の悪化や通貨安の影響を受けて金利は上昇しました。マレーシアでは、政策金利の据え置きが続いていることから金利は横ばいでの推移となりました。タイでは、緩和的な金融政策が続けられたことから金利は横ばいから低下基調での推移となりました。

・中南米地域

ブラジルでは、政府が進める財政再建の進ちょくの遅れが懸念され金利は上昇しました。メキシコでは、C P Iが前年比で低下基調が続いたことが好感されて金利は低下しました。ペルーでは、政策金利の引き上げが行なわれたことから金利は上昇しました。

○為替相場

中国経済の減速懸念を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、対円で下落する通貨が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは政治的不透明感の高まりや中央銀行の金融政策への不信感が嫌気されて対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、格付会社によるネガティブなアクションや財務大臣交代に伴う混乱が嫌気され、対円で下落しました。ポーランド・ズロチは、E C B（欧州中央銀行）による追加金融緩和への期待で経済的に結びつきの強いユーロが下落した影響を受けて対円で下落しました。

・アジア地域

原油をはじめとする商品の価格下落の影響を受けてインドネシア・ルピアおよびマレーシア・リングgitは対円で下落しました。市場心理の悪化の影響からタイ・バーツは対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、財政悪化懸念や格下げが行なわれたことから対円で下落しました。メキシ

コ・ペソおよびペルー・ソルは、主要輸出品目である原油やその他の資源の価格動向、海外市場心理の悪化に影響されて対円で下落しました。

○為替ボラティリティ相場

新興国通貨のボラティリティは不安定な推移となりました。中国経済の失速懸念と商品価格の下落がボラティリティ変動の主な要因となりました。当期間の前半は需要低迷による商品価格の下落の影響を受け、コロンビア・ペソなど産油国の通貨が大幅に低下しました。また、中国株式市況の急落を背景とした世界的なリスク回避の動きが広がると、マレーシア・リングgitなどアジア通貨を中心として新興国通貨のボラティリティは急騰しました。C E E M E A（中東欧・中東・アフリカ）ではトルコ・リラと南アフリカ・ランドのボラティリティが上昇しました。当期間の後半には、利上げ期待の高まる2015年12月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）を控え、米ドル高が進行したことで新興国通貨は軟化しました。年末にかけ再び原油価格が急落したことで、コロンビア・ペソなどの通貨が大幅に低下し、ボラティリティが急騰しました。政情不安や財政問題への不透明感など、ブラジルを取り巻くネガティブなセンチメントにより、ブラジル・レアルのボラティリティは高い水準での推移が続きました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当作成期間を通じてエマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

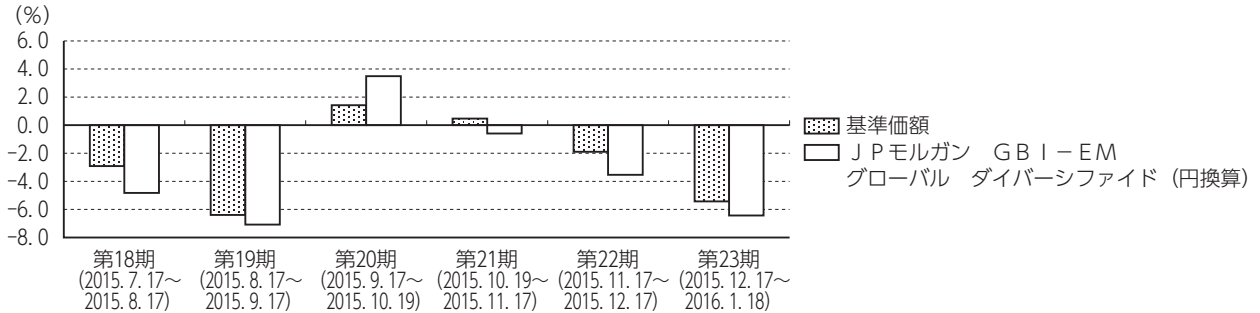
- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.0（年）～2.5（年）程度としました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り分配金(税込み)は、第18期および第19期はそれぞれ100円、第20期から第23期はそれぞれ80円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項目	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
	2015年7月18日 ~2015年8月17日	2015年8月18日 ~2015年9月17日	2015年9月18日 ~2015年10月19日	2015年10月20日 ~2015年11月17日	2015年11月18日 ~2015年12月17日	2015年12月18日 ~2016年1月18日
当期分配金(税込み)(円)	100	100	80	80	80	80
対基準価額比率(%)	1.13	1.22	0.98	0.98	1.01	1.08
当期の収益(円)	91	89	80	80	80	80
当期の収益以外(円)	8	10	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額(円)	29	18	35	57	76	106

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
(a) 経費控除後の配当等収益	91.67円	89.58円	96.32円	101.80円	99.08円	109.98円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	10.05	10.09	10.13	10.35	10.43	10.58
(d) 分配準備積立金	27.50	19.13	8.70	24.94	46.66	65.60
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	129.23	118.82	115.16	137.10	156.18	186.17
(f) 分配金	100.00	100.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	29.23	18.82	35.16	57.10	76.18	106.17

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第18期～第23期		項 目 の 概 要
	(2015. 7. 18～2016. 1. 18)		
	金 額	比 率	
信託報酬	48円	0. 586%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 182円です。
(投信会社)	(13)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(33)	(0. 409)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	7	0. 081	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(投資信託受益証券)	(7)	(0. 081)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	55	0. 670	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2015年7月18日から2016年1月18日まで)

決算期	第18期～第23期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	11,089,401	897,871	58,379,883	4,790,400

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2015年7月18日から2016年1月18日まで)

第18期～				第23期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	58,379,883	4,790,400	82

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第18期～第23期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中における売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第18期～第23期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年7月18日から2016年1月18日まで)

決算期	第18期～第23期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	91,014	10,100	11.1	—	—	—
コール・ローン	2,661,388	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 23 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	114,302.577	8,315,283	96.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第17期末	第 23 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	196,290	196,290	200,176

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年1月18日現在

項 目	第 23 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,315,283	94.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	200,176	2.3
コール・ローン等、その他	300,203	3.4
投資信託財産総額	8,815,663	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月17日)、(2015年9月17日)、(2015年10月19日)、(2015年11月17日)、(2015年12月17日)、(2016年1月18日)現在

項 目	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末	第23期末
(A) 資産	14,513,908,677円	12,340,206,831円	11,544,588,056円	10,674,820,006円	9,879,949,453円	8,815,663,759円
コール・ローン等	290,498,279	472,616,325	308,204,627	326,189,839	312,125,420	300,203,247
投資信託受益証券 (評価額)	13,424,453,390	11,667,433,498	10,836,626,421	10,148,453,530	9,367,647,396	8,315,283,875
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	200,157,008	200,157,008	200,157,008	200,176,637	200,176,637	200,176,637
未収入金	598,800,000	—	199,600,000	—	—	—
(B) 負債	595,941,184	193,381,782	245,100,306	217,303,885	162,362,202	166,921,460
未払金	299,400,000	—	99,800,000	—	—	—
未払収益分配金	159,499,289	150,550,422	111,559,351	103,777,417	99,311,332	94,488,063
未払解約金	122,434,292	30,013,681	21,521,720	103,079,339	52,846,830	62,437,151
未払信託報酬	14,506,409	12,628,393	11,946,616	10,104,031	9,792,633	9,518,447
その他未払費用	101,194	189,286	272,619	343,098	411,407	477,799
(C) 純資産総額 (A - B)	13,917,967,493	12,146,825,049	11,299,487,750	10,457,516,121	9,717,587,251	8,648,742,299
元本	15,949,928,931	15,055,042,247	13,944,918,999	12,972,177,131	12,413,916,596	11,811,007,918
次期繰越損益金	△ 2,031,961,438	△ 2,908,217,198	△ 2,645,431,249	△ 2,514,661,010	△ 2,696,329,345	△ 3,162,265,619
(D) 受益権総口数	15,949,928,931口	15,055,042,247口	13,944,918,999口	12,972,177,131口	12,413,916,596口	11,811,007,918口
1万口当り基準価額 (C/D)	8,726円	8,068円	8,103円	8,061円	7,828円	7,323円

*第17期末における元本額は16,753,131,660円、当作成期間 (第18期～第23期) 中における追加設定元本額は211,183,929円、同解約元本額は5,153,307,671円です。

*第23期末の計算口数当りの純資産額は7,323円です。

*第23期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,162,265,619円です。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

■損益の状況

	第18期 自 2015年7月18日 至 2015年8月17日	第19期 自 2015年8月18日 至 2015年9月17日	第20期 自 2015年9月18日 至 2015年10月19日	第21期 自 2015年10月20日 至 2015年11月17日	第22期 自 2015年11月18日 至 2015年12月17日	第23期 自 2015年12月18日 至 2016年1月18日
項 目	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
(A) 配当等収益	160,827,858円	147,591,040円	144,422,087円	142,229,648円	132,854,474円	139,483,430円
受取配当金	160,814,208	147,577,521	144,406,968	142,220,738	132,845,416	139,473,701
受取利息	13,650	13,519	15,119	8,910	9,058	9,729
(B) 有価証券売買損益	△ 569,231,113	△ 974,566,886	27,511,216	△ 82,108,750	△ 313,568,160	△ 632,330,270
売買益	18,261,806	32,206,545	34,947,827	5,813,648	5,303,313	14,621,357
売買損	△ 587,492,919	△ 1,006,773,431	△ 7,436,611	△ 87,922,398	△ 318,871,473	△ 646,951,627
(C) 信託報酬等	△ 14,607,603	△ 12,716,485	△ 12,029,949	△ 10,174,510	△ 9,860,942	△ 9,584,839
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 423,010,858	△ 839,692,331	159,903,354	49,946,388	△ 190,574,628	△ 502,431,679
(E) 前期繰越損益金	△ 1,429,417,650	△ 1,894,900,576	△ 2,665,791,461	△ 2,426,729,516	△ 2,369,655,301	△ 2,524,610,278
(F) 追加信託差損益金	△ 20,033,641	△ 23,073,869	△ 27,983,791	△ 34,100,465	△ 36,788,084	△ 40,735,599
(配当等相当額)	(16,040,100)	(15,204,440)	(14,126,329)	(13,433,237)	(12,957,579)	(12,506,835)
(売買損益相当額)	(△ 36,073,741)	(△ 38,278,309)	(△ 42,110,120)	(△ 47,533,702)	(△ 49,745,663)	(△ 53,242,434)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,872,462,149	△ 2,757,666,776	△ 2,533,871,898	△ 2,410,883,593	△ 2,597,018,013	△ 3,067,777,556
(H) 収益分配金	△ 159,499,289	△ 150,550,422	△ 111,559,351	△ 103,777,417	△ 99,311,332	△ 94,488,063
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,031,961,438	△ 2,908,217,198	△ 2,645,431,249	△ 2,514,661,010	△ 2,696,329,345	△ 3,162,265,619
追加信託差損益金	△ 20,033,641	△ 23,073,869	△ 27,983,791	△ 34,100,465	△ 36,788,084	△ 40,735,599
(配当等相当額)	(16,040,100)	(15,204,440)	(14,126,329)	(13,433,237)	(12,957,579)	(12,506,835)
(売買損益相当額)	(△ 36,073,741)	(△ 38,278,309)	(△ 42,110,120)	(△ 47,533,702)	(△ 49,745,663)	(△ 53,242,434)
分配準備積立金	30,593,677	13,141,557	34,905,749	60,646,237	81,623,483	112,897,509
繰越損益金	△ 2,042,521,474	△ 2,898,284,886	△ 2,652,353,207	△ 2,541,206,782	△ 2,741,164,744	△ 3,234,427,529

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
(a) 経費控除後の配当等収益	146,224,017円	134,877,835円	134,322,669円	132,061,280円	123,000,061円	129,903,232円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	16,040,100	15,204,440	14,126,329	13,433,237	12,957,579	12,506,835
(d) 分配準備積立金	43,868,949	28,814,144	12,142,431	32,362,374	57,934,754	77,482,340
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	206,133,066	178,896,419	160,591,429	177,856,891	193,892,394	219,892,407
(f) 分配金	159,499,289	150,550,422	111,559,351	103,777,417	99,311,332	94,488,063
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	46,633,777	28,345,997	49,032,078	74,079,474	94,581,062	125,404,344
(h) 受益権総口数	15,949,928,931口	15,055,042,247口	13,944,918,999口	12,972,177,131口	12,413,916,596口	11,811,007,918口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
	100円	100円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(8, 726円)	(8, 068円)	(8, 103円)	(8, 061円)	(7, 828円)	(7, 323円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年1月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書

2015年5月31日

資産

損益通算公正価値金融資産	ドル	157,150,276
現金および現金同等物		5,336,014
未収：		
売却済み有価証券		1,656,875
利息		2,307,966
前払報酬		—
総資産		<u>166,451,131</u>

負債

損益通算公正価値金融負債		1,776,773
未払：		
償還済みの受益証券		2,417,503
購入証券		1,679,384
保管報酬		62,329
報酬代理店報酬		53,514
副投資運用会社報酬		42,954
専門家報酬		36,911
管理会社報酬		18,687
名義書き換え代理報酬		3,570
負債（買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産を除く）		<u>6,091,625</u>
買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産	ドル	<u>160,359,506</u>

包括利益計算書

2015年5月31日に終了した年度

収益	
利息	ドル 14,913,069
損益通算公正価値金融資産および負債による純実現（損失）／利益	(10,558,338)
外貨取引による純実現損失	(1,512,967)
損益通算公正価値金融資産および負債による評価（損）／益の純変動	(34,371,343)
外国為替換算による評価（損）／益の純変動	(112,866)
収益合計	<u>(31,642,445)</u>
費用	
副投資運用会社報酬	770,407
報酬代理店報酬	472,189
保管報酬	439,153
管理会社報酬	153,546
名義書き換え代理報酬	30,896
受託会社報酬	14,960
専門家報酬	—
費用合計	<u>1,881,151</u>
金融費用控除前営業（損失）／利益	<u>(33,523,596)</u>
金融費用	
買戻償還可能受益証券保有者に対する分配金	<u>(29,023,909)</u>
分配金控除後税引前（損失）／利益	(62,547,505)
源泉徴収税	(899,367)
業務活動の結果生じた買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産の（減少）／増加額	<u>ドル (63,446,872)</u>

投資明細
2015年5月29日

債券

ブラジル

NOTA DO TESOURO 10% 1/1/17 /BR	ドル	6,240,756.75
NOTA DO TESO 10% 01/01/18/BRL/		4,621,800.41
LETRA TESOUR ZCP 07/01/17/BRL/		6,061,900.96
ブラジル計		<u>16,924,458.12</u>

インドネシア

INDONESIA 7.375% 09/15/16/IDR/		9,825,695.70
INDONESIA 7.875% 04/15/19/IDR/		7,516,636.42
インドネシア計		<u>17,342,332.12</u>

マレーシア

MALAYSIA 4.262% 09/15/16/MYR/		11,069,187.12
MALAYSIA 4.012% 09/15/17/MYR/		1,383,559.74
MALAYSIA 3.172% 07/15/16/MYR/		5,472,165.85
マレーシア計		<u>17,924,912.71</u>

メキシコ

MEX BONOS DES 8% 12/17/15/MXN/		2,660,982.61
MEX BONOS 7.25% 12/15/16/MXN/		3,415,684.11
MEX BONOS D 6.5% 06/09/22/MXN/		4,724,753.21
MEX BONOS 6.25% 06/16/16/MXN/		6,669,871.78
メキシコ計		<u>17,471,291.71</u>

オランダ

BK NEDERLAN 0.5% 06/22/16/TRY/		11,792,528.17
オランダ計		<u>11,792,528.17</u>

ペルー

PERU BONO SOB 8.6% 8/12/17		17,366,196.96
ペルー計		<u>17,366,196.96</u>

ポーランド

POLAND GOVERN 4% 10/25/23/PLN/		1,446,849.87
POLAND GOVE 2.5% 07/25/18/PLN/		5,390,349.90
POLAND GOVER ZCP 07/25/16/PLN/		10,450,018.64
ポーランド計		<u>17,287,218.41</u>

南アフリカ	
REPUBLIC O 8.25% 09/15/17/ZAR/	3,361,508.91
REPUBLIC O 7.25% 01/15/20/ZAR/	6,467,588.50
REPUBLIC O 13.5% 09/15/16/ZAR/	4,445,357.61
南アフリカ計	<u>14,274,455.02</u>
国際機関債	
IFFIM 6.1% 09/29/16/ZAR/	2,789,529.70
国際機関債計	<u>2,789,529.70</u>
スウェーデン	
SWEDISH EXP 5.5% 03/27/18/TRY/	1,645,529.68
スウェーデン計	<u>1,645,529.68</u>
タイ	
THAILAND 4.875% 06/22/29/THB/	5,317,165.58
THAILAND G 3.25% 06/16/17/THB/	6,155,190.25
THAILAND 3.875% 06/13/19/THB/	3,183,772.29
THAILAND 3.125% 12/11/15/THB/	2,998,573.13
タイ計	<u>17,654,701.25</u>
トルコ	
TURKEY GOVE 6.3% 02/14/18/TRY/	2,797,896.32
TURKEY GOVERN 9% 07/24/24/TRY/	1,879,226.15
トルコ計	<u>4,677,122.47</u>
債券計	<u>157,150,276.32</u>

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2016年1月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を29ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

（2015年7月18日から2016年1月18日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
550 国庫短期証券 2015/11/9	8,509,995		
548 国庫短期証券 2015/11/2	7,399,995		
559 国庫短期証券 2015/12/21	7,049,991		
568 国庫短期証券 2016/2/15	7,000,000		
563 国庫短期証券 2016/1/18	6,099,995		
573 国庫短期証券 2016/3/7	5,800,988		
555 国庫短期証券 2015/12/7	5,499,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	5,469,997		
567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,995		
576 国庫短期証券 2016/3/22	3,000,288		

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年1月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（46,411,371千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2016年1月18日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 35,144,000	千円 35,149,155	%	%	%	%	%
			74.3	—	—	—	74.3

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	2016年1月18日現在					
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	566 国庫短期証券	—	千円 3,000,000	千円 2,999,999	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	—	5,000,000	4,999,998	2016/02/08	
	568 国庫短期証券	—	7,000,000	7,000,000	2016/02/15	
	572 国庫短期証券	—	3,000,000	3,000,000	2016/02/29	
	573 国庫短期証券	—	5,800,000	5,800,540	2016/03/07	
	574 国庫短期証券	—	3,000,000	3,000,114	2016/03/14	
	576 国庫短期証券	—	3,000,000	3,000,186	2016/03/22	
	578 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,075	2016/03/28	
	342 2年国債	0.1000	2,094,000	2,095,402	2016/07/15	
	100 5年国債	0.3000	1,250,000	1,252,837	2016/09/20	
	合 計	銘 柄 数 金 額	10銘柄	35,144,000	35,149,155	

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第11期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位 (A - 2 格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

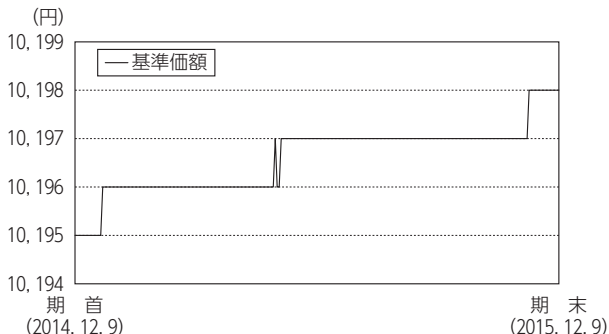
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,195円 期末：10,198円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2014年12月9日	10,195	—	60.0
12月末	10,196	0.0	88.5
2015年1月末	10,196	0.0	87.3
2月末	10,196	0.0	58.5
3月末	10,196	0.0	53.0
4月末	10,196	0.0	61.8
5月末	10,197	0.0	59.0
6月末	10,197	0.0	53.3
7月末	10,197	0.0	62.8
8月末	10,197	0.0	70.5
9月末	10,197	0.0	61.6
10月末	10,197	0.0	66.8
11月末	10,198	0.0	52.5
(期末) 2015年12月9日	10,198	0.0	55.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	120,653,910	(92,494,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
550 国庫短期証券 2015/11/9	8,509,995		
548 国庫短期証券 2015/11/2	7,399,995		
559 国庫短期証券 2015/12/21	7,049,991		
563 国庫短期証券 2016/1/18	6,099,995		
555 国庫短期証券 2015/12/7	5,499,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	5,469,997		
568 国庫短期証券 2016/2/15	5,000,000		
567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,995		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,800,955		
520 国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作成期	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率				
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満	%	%
国債証券	43,554,000	43,559,849	55.2	—	—	—	—	—	55.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	年利率	当		期		末	
			額面金額	評価額	額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円				
国債証券	537 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/12/10			
	557 国庫短期証券	—	5,470,000	5,469,999	2015/12/14			
	559 国庫短期証券	—	7,050,000	7,049,997	2015/12/21			
	560 国庫短期証券	—	2,790,000	2,789,999	2015/12/28			
	563 国庫短期証券	—	6,100,000	6,099,997	2016/01/18			
	566 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/01			
	567 国庫短期証券	—	5,000,000	4,999,996	2016/02/08			
	568 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,000	2016/02/15			
	573 国庫短期証券	—	4,800,000	4,800,934	2016/03/07			
	342 2年国債	0.1000	2,094,000	2,095,675	2016/07/15			
100 5年国債	0.3000	1,250,000	1,253,250	2016/09/20				
合計	銘柄数	11銘柄						
	金額		43,554,000	43,559,849				

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	43,559,849	55.2		
コール・ローン等、その他	35,332,328	44.8		
投資信託財産総額	78,892,178	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	78,892,178,168円
コール・ローン等	35,330,663,234
公社債(評価額)	43,559,849,888
未収利息	1,114,825
前払費用	550,221
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	78,892,178,168
元本	77,361,886,547
次期繰越損益金	1,530,291,621
(D) 受益権総口数	77,361,886,547口
1万口当り基準価額(C/D)	10,198円

*期首における元本額は25,162,158,471円、当期中における追加設定元本額は125,627,714,743円、同解約元本額は73,427,986,667円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、深センA株資本金拠出用ファンド(適格機関投資家専用)1,000,294,205円、ダイワ/RIC I (R)コモディティ・ファンド8,952,508円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)740,564円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード161,095,201円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型)132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型)643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型)12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンドーパラダイムシフトー49,096,623円、(適格機関投資家専用)スマート・シックス・Dガード1,919,351,400円、ブルベア・マネー・ポートフォリオIV23,032,151,009円、ブル3倍日本株ポートフォリオIV47,552,576,868円、ベア2倍日本株ポートフォリオIV2,618,628,748円、ダイワFEグローバル・バリュー株ファンド(ダイワSMA専用)13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)日本円・コース(毎月分配型)23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)米ドル・コース(毎月分配型)2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)豪ドル・コース(毎月分配型)13,761,552円、ダイワ/UBSエマーシングCBファンド2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ46,913,699円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスIIー金積立型ー1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド(償還条項付き)為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(資産成長コース)49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース)196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド(Dガード付/部分為替ヘッジあり)140,042,061円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジあり)9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジなし)29,440,629円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)日本円コース3,874,449円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα(毎月分配型)98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ7,567,671円、DCスマート・アロケーション・Dガード3,224,448円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド(ダイワSMA専用)490,418円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)トルコ・リラ・コース(毎月分配型)2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー通貨セレクト・コース(毎月分配型)98,174円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,198円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,433,273円
受取利息	10,433,273
(B) 有価証券売買損益	△ 362,189
売買益	43,331
売買損	△ 405,520
(C) 当期損益金(A+B)	10,071,084
(D) 前期繰越損益金	491,354,312
(E) 解約差損益金	△ 1,446,302,032
(F) 追加信託差損益金	2,475,168,257
(G) 合計(C+D+E+F)	1,530,291,621
次期繰越損益金(G)	1,530,291,621

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。